

武蔵コーポ サブリース事業開始

既存物件の管理受託を積極推進



武蔵コーポレーション
(埼玉県さいたま市)
大谷義武社長(33)

個人投資家向けに収益用マンションの売買・仲介・賃貸管理を行う武蔵

コーポレーション(埼玉県さいたま市)は、新たにサブリース事業を開始する。

同社の場合、地主や会社員が主な購入層。中でも既に物件を所有している地主層に対する提案時に活用していく構えだ。

現在の管理戸数は約500戸。自社では賃貸斡旋を行わないが、空室率は1%にとどまる。大谷

義武社長は、自信をのぞかせる。同社が目指すのはPM型管理。斡旋は専

門会社に一任し、物件の管理に専念するといふものだ。

「退去に伴い空室が発生すると、物件の資料を持って対象エリアの仲介店

舗全てに出向きます。しかも『月曜の朝礼をしてほしい』という要望が寄せ

いる時間』や『月曜午後15時の会議の時間』など、主

要人物が集合している時間帯を狙うのです。そして、朝礼に参加させます。このことで、主力事業の収

PM型の管理を目指す

入した取り組みが内見や成約に繋がっています」に繋げていく。(大谷社長)

武蔵コーポレーション

年収1000万円から始める「アパート事業」による資産形成入門。ご紹介!!

2009年9月5日 出版記念セミナー「アパート事業」による資産形成入門 開催決定

武蔵コーポレーションDVD 第2巻&第3巻付録!

vol.2 不動産の基礎知識 vol.3 不動産の活用術

「不動産売却額面における究極の計算法」ついにDVD化!

会社情報 出版記念セミナーのご案内 加盟のご案内

TEL: 048-211-2280

▲同社HP